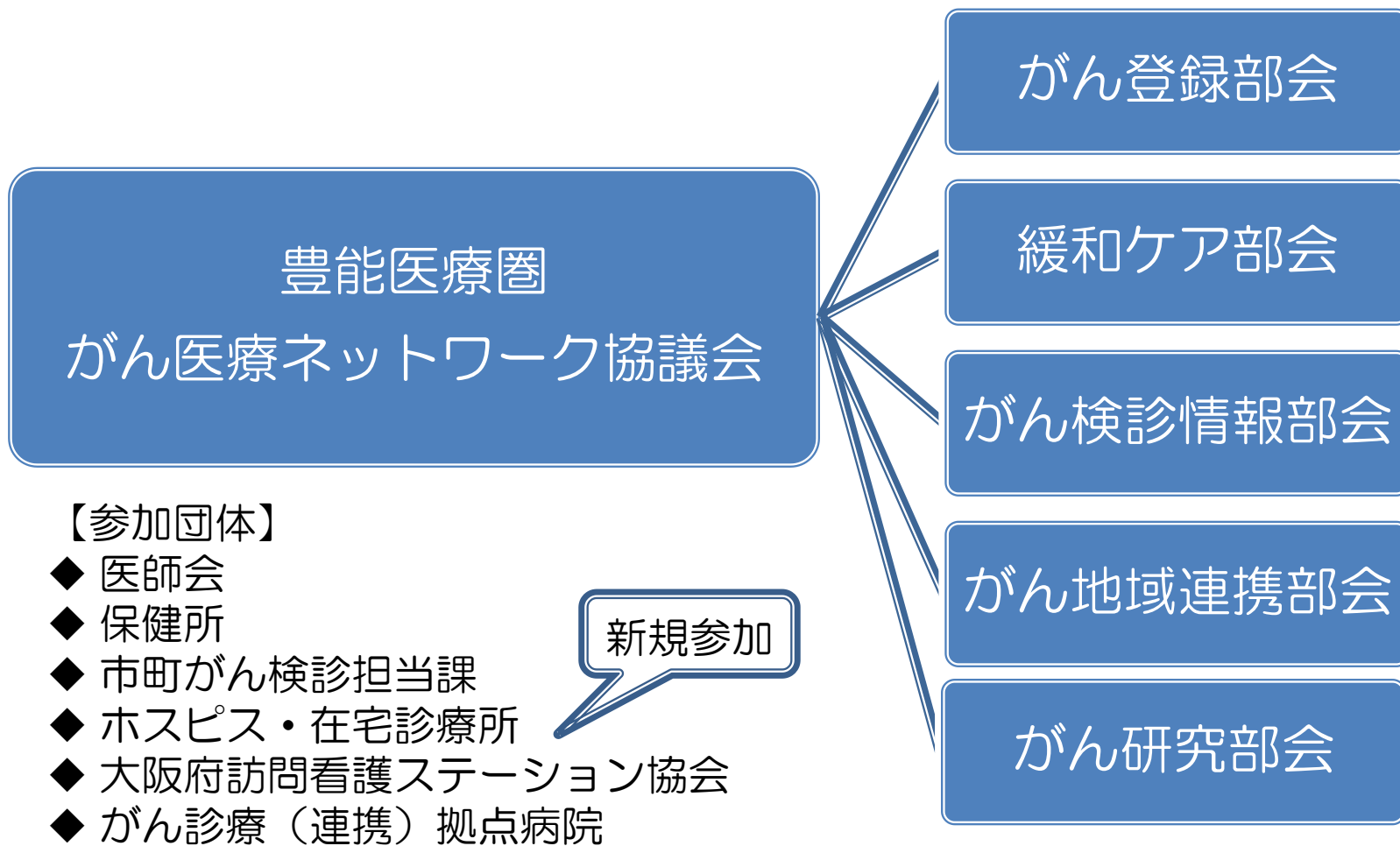


豊能医療圏 がん医療ネットワーク協議会 活動報告

〔令和元年（2019年）8月1日〕

市立豊中病院
大阪大学医学部附属病院

組織図



がん登録部会

【部会活動のメインテーマ】 網羅的で精度の高いがん登録の実施

【令和元年度（2019年度）活動目標】

1. **乳がんの院内がん登録データを用いた現状分析**
 - 2016年、2017年、2018年の3年分の院内がん登録データから、地域、進行度や治療内容等のベンチマークを作成
 - 自施設の登録状況の把握と豊能医療圏での乳がんの現状の比較・分析
2. **院内がん登録の制度管理**
 - 情報共有し、精度の高い院内がん登録データを構築

緩和ケア部会

【部会活動のメインテーマ】 緩和ケアの普及

【令和元年度（2019年度）活動目標】

1. 緩和ケアにかかる地域医療機関との連携強化

- 各施設で地域連携情報シート（リレーシート）の運用に向けた調整を行い、運用実績を蓄積

2. 緩和ケアの普及促進

- 緩和ケアにかかる地域連携を目的とした研修や会合等への相互参加
- 医療従事者の資質向上に繋がる交流会の企画立案

地域連携情報シート Ver.1 (リレーシート)			患者氏名			記載日		
						年 月 日		
病名			生年月日			才		
			年 月 日			性別:		
						記載者		
						医師		
						看護師		
						MSW		
現時点で予測される予後			<input type="checkbox"/> 日単位 <input type="checkbox"/> 週単位 <input type="checkbox"/> 1-3ヶ月 <input type="checkbox"/> 3-6ヶ月 <input type="checkbox"/> 6ヶ月以上 <input type="checkbox"/> ()					
急変リスクの見込み			<input type="checkbox"/> 低~中等度 ⇒ (具体的に) <input type="checkbox"/> 出血 <input type="checkbox"/> 穿孔 <input type="checkbox"/> 誤嚥 <input type="checkbox"/> 血栓症 <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> その他 ()					
予後説明 (時期・伝えた相手・内容)			<input type="checkbox"/> 予後については知らせていない <input type="checkbox"/> ()頃)に()に対し()と伝えた					
病状・予後説明の特記事項 (患者に悪い説明をしない等)								
症状緩和における注意点 (もしあれば)			・効果が乏しかった薬剤() ・副作用が強かった薬剤() ⇒副作用の内容 () ・その他()					
*ここから上の太枠内は医師が記載してください。			<input type="checkbox"/> 診療情報提供書参照					
起居動作			<input type="checkbox"/> 自力歩行可能 <input type="checkbox"/> 介助歩行可能 <input type="checkbox"/> ベッド上臥床 <input type="checkbox"/> ()					
食事量			() 割程度					
医療処置			<input type="checkbox"/> 末梢静脈点滴 <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 月1回の注射 <input type="checkbox"/> 持続皮下注射 <input type="checkbox"/> インスリン <input type="checkbox"/> 外瘻チューブ <input type="checkbox"/> 尿道カテーテル <input type="checkbox"/> 在宅酸素 <input type="checkbox"/> 人工肛門 <input type="checkbox"/> 褥瘡 <input type="checkbox"/> 創処置 <input type="checkbox"/> 気管切開 <input type="checkbox"/> 吸引 <input type="checkbox"/> 胃ろう <input type="checkbox"/> その他 () *点滴・注射の内容() <input type="checkbox"/> 別紙参照					

現在の苦痛な症状	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ()
現在の状況	<input type="checkbox"/> 入院中 (退院予定日) <input type="checkbox"/> 通院中⇒今後の通院予定 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
同居家族	<input type="checkbox"/> 独居 <input type="checkbox"/> () 人暮らし：同居家族； ()
訪問看護	() 訪問看護ステーション
ケアマネージャー	() 担当者： ()
在宅担当医	() () 医師
外来主治医	(診療科：) () 医師
緊急時の入院受け入れ	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 条件付で可 (具体的内容：)
医療保険	<input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 公費助成()
介護保険	<input type="checkbox"/> 認定有 () <input type="checkbox"/> 申請中 (区分変更含む) ⇒認定調査日：
	<input type="checkbox"/> 未申請⇒理由：
看取りの場所の希望 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> () 病院 <input type="checkbox"/> ()
	<input type="checkbox"/> ホスピス/緩和ケア病棟 () 病院 ⇒面談日： <input type="checkbox"/> 未調整
状態悪化時の対応(希望)	<input type="checkbox"/> 入院希望無し <input type="checkbox"/> 入院希望あり⇒ () 病院 <input type="checkbox"/> 不明
備考 連携先に伝えたいこと等 (本人の思いや希望を含む)	<input type="checkbox"/> 別紙参照
発信元	〒
	TEL FAX 担当：

がん検診情報部会

【部会活動のメインテーマ】

がんに関する情報の普及、及びがん検診の受診率向上

【令和元年度（2019年度）活動目標】

1. がん医療公開講座の実施
 - ワーキンググループを設置して計画的に作業をすすめ、がん医療公開講座を実施
2. がん教育の推進
 - 豊能医療圏内の児童・生徒向けがん教育出前講座への講師派遣の取り組み
 - 教育委員会との連携によるがん教育の実施を行うための学校現場での取り組みの把握の検討

がん医療公開講座の開催内容

- ◆ 日 時 令和2年（2020年）2月8日（土）午後2時～午後4時30分
- ◆ 場 所 千里ライフサイエンスセンター
- ◆ テーマ 大腸がん
- ◆ 対 象 希望する地域住民 300人
- ◆ 形 式 がん経験者による特別講演 と パネルディスカッション
- ◆ 特別講演
 - 講師 がん経験者
 - 内容 がん経験者の体験談として、「がん」という病との向き合い方、医療との付き合い方、自分らしく生活するための、モチベーションや活動(仕事や家庭)のあり方などについて
- ◆ パネルディスカッション
 - 検診、早期発見、豊能圏域の現状、患者会の活動などについて
 - パネリスト4名
- ◆ 費用・財源計画について
 - 「大阪府地域医療介護総合確保基金」活用（100万円）

がん地域連携部会

【部会活動のメインテーマ】 地域連携によるがん医療の充実

【令和元年度（2019年度）活動目標】

1. <がんリハビリテーションチーム>

がんリハビリテーションの啓発と均てん化

- 前年度に収集したデータを基にした各拠点病院の状況や特徴の把握、課題・問題点の情報共有と意見交換
- 各拠点病院で実施するがんリハビリテーションの内容一覧をホームページに掲載

2. <がん相談支援センターチーム>

がん相談支援センターの連携と改善

- 「就労支援」をテーマに対応事例から改善に向けた対応策・相互の連携を検討

がん研究部会

(1) 小児がん対策

● 小児がん診療に関わる医療機関ネットワークの構築

阪大病院は、大阪府内のがん診療連携拠点病院等と連携し、小児がん患者の診療に取り組んでいる。特に骨軟部腫瘍、脳腫瘍、網膜芽細胞腫、肝移植の必要な肝芽腫については大阪府内から患者が集積しており、小児科、小児外科、眼科、整形外科、脳神経外科が連携して治療にあたっている。また、近畿若手小児血液クラブを組織し、若手医師の教育も行なっている。AYA世代のがんに対しても力をいれており妊孕性についても産婦人科と連携している。長期フォローアップ外来研修受講看護師が誕生し、がんになっても一生を通じて質の高い生活を送ることができるよう多職種による支援を行っている。

(2) 骨髄移植および臍帯血移植の推進

● 骨髄移植および臍帯血移植の現状

同種造血幹細胞移植の件数は年間27件（平成30年度）である。移植の幹細胞ソースとしては血縁、骨髄バンク、臍帯血のすべてに対応しており、骨髄バンク及び臍帯血移植が2/3を占めている。

がん研究部会

(3) がん研究の推進

- **多施設臨床研究の推進（特定非営利活動法人SCCRE（エスキュール））**

がん臨床研究を実施する7つの研究会（消化器がん、乳がん、肺がん、泌尿器系がん、骨髄腫等）を支援している。

- **臨床研究中核病院**

平成27年8月に臨床研究中核病院の認定を受けた。質の高い臨床研究支援のために更に未来医療開発部を整備する。

- **がんゲノム医療中核拠点病院**

- ・ 「がんゲノム医療を総括する部門の設置」として、がんゲノム医療センターを設置し、平成30年2月にがんゲノム医療中核拠点病院の指定を受けた。
- ・ 平成30年9月に品質保証遺伝子検査室が米国病理医協会の認定（CAP-LAP）を取得した。
- ・ 平成30年10月より先進医療B「マルチプレックス遺伝子パネル検査」を実施している。
- ・ 平成30年度は、13のがんゲノム医療連携病院（大阪府下8病院）と協力してゲノム医療の社会実装を推進している。

がん研究部会

(4) 先進医療の推進

● 以下の先進医療を現在実施中である

1. パクリタキセル静脈内投与及びカルボプラチン腹腔内投与の併用療法（先進医療 B）
2. 周術期カルペリチド静脈内投与による再発抑制療法（先進医療 B）
3. 11C 標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による再発の診断 頭頸部腫瘍（先進医療 B）
4. 放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法（先進医療 B）
5. 11C 標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による診断 初発の神経膠腫が疑われるもの（先進医療 B）
6. 術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツズマブ静脈内投与の併用療法（先進医療 B）
7. テモゾロミド用量強化療法 初発時の初期治療後に再発又は増悪した膠芽腫（先進医療 B）
8. 腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術（先進医療 A）
9. マルチプレックス遺伝子パネル検査 難治性固形がん（先進医療 B）

(5) 人材育成

● がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（大学院）

46名が在学中（薬物療法、放射線治療、緩和医療、外科治療、放射線物理、細胞診、がん看護等）